

令和7年度  
農林業近代化施設解体工事説明会  
議事録

令和8年3月14日 開催

利根町農業政策課

令和7年度  
農林業近代化施設解体工事説明会

令和8年3月14日 午前10時00分開会

1. 住民参加者 16名

1. 説明者

利根町長	山崎 誠一郎
農業政策課長	大越 正博
農業政策課課長補佐	荒井 裕二
解体設計・監理	(株)若柳建築事務所
解体工事施工業者	(株)フルヤ建商

会議録作成用文字起こしソフトで変換されず、実際に聞いても不明瞭で聞き取れない部分については★として標記しています。予めご了承ください。

令和8年3月14日（土曜日）  
午前10時00分開会

○農政課（荒井）それでは定刻となりましたので、農林業近代化施設解体工事に関する説明会を始めます。まず初めに山崎町長よりご挨拶申し上げます。

○利根町長（山崎）おはようございます。お忙しい中、急な招集なんですけどもお集まりいただきありがとうございます。

まず初めに、私の方からご挨拶させていただきます。

このきのご問題。これにつきまして町の代表としまして、まず初めに謝罪をいたします。補助金返還等の義務につきまして、職員の認識不足、そしてそういったことで誤解を招いたということがまず1つ。

そして、町が実施したアスベストを含む廃棄物処理に関して違反行為があったこと、これも同じでございます。

そして説明会の際に、職員の発言により不快な思いをさせたこと、また契約の関係で解体時期が遅れてしまったこと、諸々いっぱい謝らなければいけない、謝罪しなければいけないこともあります。

そして1つ1つ解決をしていくつもりでございましたが、まず昨年9月の定例議会において約7000万円という概算というか、想定した金額で予算は通しておりました。

今回の定例議会において、消費税込みで、7000万円の予定だったんですが、3000万円、2900万円、可決をさせていただきます。

そういったこともあったんですが、いろいろな今の問題をクリアというか、心配とかご迷惑とか、そういったところがありますので、本当にこの場をお借りしてお詫びを申し上げたいと思います。

私としては、議員の時に、この委員会を立ち上げて委員長になって、解体という可決をもって、執行部の方にそれをまわしてどうにか、この解体の決裁ができたということは良かったのかなと思っておりますし、後程詳しい説明がありますが、その7000万円が3000万円で済んだということで、これから、終わったわけではございませんので、あれの利活用ですね、そういったものを壊した後に、何を作るかということもありますので、調整区域とかいろいろクリア

しなければいけない部分があるんですが、その際には近隣の皆様、あと、町民の皆様にごすね、今こういったことを考えていると、ご意見ありますかと、それが終わったら、こういったことに決定したいと思うんですが、良いでしょうかと。

そういった判断は仰ぎたいと思っておりますので、引き続き注視していただき、ご意見等がありましたら、どんだん町の方にいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。言い訳ばかりになっちゃったんですが、私としてのあいさつとかえさせてもらいます。今日はよろしくお願ひします。

○農政課（荒井）ここで私ども説明者側の紹介をさせていただきます。

○農政課（大越）農業政策課長の大越です。よろしくお願ひします。

○農政課（荒井）本日進行を務めます、農業政策課荒井と申します。よろしくお願ひいたします。

次に解体設計と監理をお願いしております株式会社若柳建築事務所の若柳所長です。

○若柳建築事務所（若柳）どうぞよろしくお願ひいたします。

○農政課（荒井）同じく三輪次長です。

○若柳建築事務所（三輪）よろしくお願ひいたします。

○農政課（荒井）次に解体工事を施工していただきます、株式会社フルヤ建商の古矢常務です。

○フルヤ建商（古矢）よろしくお願ひします。

○農政課（荒井）同じく北嶋営業部長です。

○フルヤ建商（北嶋）よろしくお願ひします。

○農政課（荒井）同じく本名（ホナ）工事部課長です。

○フルヤ建商（本名）よろしくお願ひします。

○農政課（荒井）改めましてよろしくお願ひします。

それでは早速ですが、工事概要について若柳建築事務所さんよりご説明の方をお願ひいたします。

○若柳建築事務所（若柳）はい。1枚目を開いていただきまして、概要書というページがあると思ひます。ご覧いただけますでしょうか。

工事名称は令和7年度農林業近代化施設解体工事。

工期は令和8年3月10日から令和8年9月5日までです。

場所は皆様ご存じの通りでしょうけれど立木99番地と100番地となっております。

構造仕様についてご説明いたします。

敷地面積は2847.46㎡です。解体する建築物が3棟ござひます。

栽培等は鉄骨造で屋根が波型鉄板、外壁がUボードの角波という形になっておりました。

面積が802.26㎡です。

2つ目の解体棟が屋内堆積場となっております。

これも鉄骨造で、この屋根は波型石綿スレート葺です。床は土間コンとなっております、柱があるだけで外壁はござひません。面積が256.00㎡です。

3つ目の解体棟は、覆土調整調整室・機械格納庫です。

これも軽量鉄骨なんですけど鉄骨造となっております。屋根は波型石綿スレート、外壁も同じスレート貼りで、腰の部分にコンクリートブロックが積み上げられておりました。

面積は100.24㎡となっております。

その3棟を解体するほか、電柱3本ほどあります。

それからキュービクルもあります。

あとストック場となっておりますところの、コンクリート塀と土間が残っておりますので、一切を解体します。解体後は土留めのみを残して更地になる予定でおります。

以上です。

よろしくお願ひいたします。

○農政課（荒井）はい。ありがとうございます。

次にですね、解体のスケジュールと解体作業について及びアスベスト含有建材除去手順とPCBについて、古矢さんお願ひいたします。

○フルヤ建商（古矢）次のページの工程表から説明させていただきます。

予定といたしましては、まず3月末ごろから共通仮設として休憩所の設置や、敷地外周にフェンスを取って仮囲いを回す工事から入ります。その後、建物ごとの直接仮設ですね、足場、シートで囲うことをしまして、解体作業の方に入っていきます。

現状の予定といたしましては、8月ごろからそういった共通仮設の撤去を行って工事が完了する予定になっております。

次のページが仮設計画図になっております。

敷地全周を仮囲い3mで囲いまして、ゲートを1か所設置します。

建物ごと枠組みの単管を用いて足場を立てて、隣地側はすべて建物の高さまでシートで囲うような形になります。

ピンクで示してるところが養生シートを設けるような形になります。

次のページからは、使用する重機や車両関係の書類となっております。

色とか仕様が若干変わったりするんですが、一応こういった車両や重機が入って作業の方をさせていただく予定です。

次にアスベストの除去手順について説明させていただきます。

今回の工事ではレベルⅢのアスベストの建材、スレートとケイカル板がある建物となりまして、すべてレベルⅢですので、手ばらしで破壊なく撤去を行っていきます。

対象物に対して水で湿潤をさせまして、割らないように撤去してその後袋に入れて梱包して処分場の方に搬出するよう形になります。

最後にPCBについてご説明させていただきます。

敷地に残っているキュービクルは、1989年の製造のものになりまして、一応メーカーの見解書類を見ますと、混入の可能性が否定できないものとなります。

今、分析にかけてる状態ですので、まだ入ってるか入ってないか不明なんですけど、もし入っていた場合は、そのまま入ってるケースごと搬出という形になりますので、その敷地内で開封作業とかはまったく行わず、無害化施設に搬出するよう形になります。

以上です。

**○農政課（荒井）** はい、ありがとうございます。

ここで解体工事に関する質疑応答とさせていただきますのでご質疑のある方は挙手をお願いいたします。

またマイクをお持ちしますので質疑をする際は、お名前をおっしゃってから質疑をお願いいたします。

どなたかご質問、ご質疑のある方いらっしゃいますでしょうか。

**○参加者（A）** 奥山のAと申します。

これから解体する建物のちょうど隣で私田んぼを作ってる者なんですけども、これトラックの写真を見ると10tと4tって書いてありますよね。

これなんですけど、これどっちから入ります。

もえぎ野の方から下がって入るのか。それとも、中学校側、向こう側から入ってくるのか。

**○農政課（荒井）** 中学校側から。

**○参加者（A）** そうすると、農道なので舗装してないんですよ。あそこの道路は。だいたい道路が何というか、雨のときもあるでしょうし、だいたい傷んでくると思うんですよ。

その辺のところはどのようにお考えですか。

**○フルヤ建商（古矢）** 当初の予定では敷鉄板を敷かせていただいて、車両が入るような計画でいたんですけども。

そうしますと敷鉄板だと、やっぱり雨だったりすると滑りやすかったり、敷鉄板どうしのところに段差ができてしまって、夜とか暗くて危ないということで、あの状態のまま使わせていただきまして、ただやっぱりへこんだりする部分が出てきちゃうと思うんですね。

なので工事が終わったときにすべて綺麗に直すような計画でおります。

**○参加者（A）** それはただ碎石かなんか引くってことですか。

**○若柳建築事務所（若柳）** 補修の材料ですよ。

窪んだりずれたり、そういうのは元に戻した状態で、あと土が減ってたりしたら砂利を入れて固めていきたいと考えております。

○参加者（A）最後に直すって言いましたけど、途中でも、おそらくもう凹んだりひどくなつてくると思うんですよ。

これ始まるのがちょうど我々、田植えが始まる時期で、稲刈もちょうどあるし、やっぱり悪くなったらすぐ砕石を入れたり、その都度やってもらわないとちょっと困るかなっていうことなんですけども。

○若柳建築事務所（若柳）わかりました。

現場の方で、一応多分ずれ落ちた場合の想定をしておいて、ちょっと砂利を少しストックしておいて、なにか異変があったら対応するというふうにさせていただこうと思います。

よろしいでしょうか。

○参加者（A）はい、わかりました。

○参加者（B）もえぎ野台5丁目のBと申します。ちょうどこの工場の目の前に住んでいて、工場の様子とか毎日見ているものですから、ちょっと気が付いたことを言わせていただきます。今のお話の道路の農道の問題、あれについてですけど、2月に外の車両だとか外にあるものを車で出してる工事というか、やりましたよね。

一応自治会の回覧板で、建物の周りがあるものを廃棄するので、よろしくお願ひしますという回覧はまわってきましてので、その日どんな作業をするのか、家から見えました。

一応回覧板では、外にある古い車だとか色々なものを撤去するとか書いてなかったんです。見てみたら、建物の中から板っぱらみたいなのもたくさん出してたんですよ。

ですから、そんな影響ないかと思ひますけど、建物の中いろいろ飛沫の問題とか私たちが心配してましたので、飛沫もいろいろ含めながら建物の中から出してたように思われます。

ですから、ハッキリとね、正しく外周りのものだけ片づけるんじゃなくて、中の棚だとか設置されている道具までも撤去するんだっていうことを明確に、ひとつ書いてほしかったなと思ってます。それから、その車が、何回か、先ほど言っていましたように中学校の通りに出るわけですけど、やはり大きな車でしたので、通りに入るためにトラックが3回も4回も切り返したり、エンジンをふかしながらやっこさ道路に出てたんですよ。

そういう様子を見てたものですから、今後の解体工事のときはどうなるんだろうかと、そういう心配を工事をされる方たち考へているのかしらって思つて。

農道から道路に出るところ、かなり段差があつて、10tのトラックだとどんなふうにも…。

中学校の後ろの道路は、普通の車でも対向車が来ると必ず左側に止まって対向車をよけるんですよ。だから走りながらお互いすれ違ふってことはしていない道路なんですよ。

ですから10tの車が通つたときにどんなになるのかなっていうことを心配しておりますので、しっかり保証していただきたいと思つております。

先ほど町長さんが7000万円の予算から2900万円に変わったって、数字だけ見れば私たち町民としたら、税金が安くなって有難いって思ひますけども、少なくなった原因。例えば中身が手作業でやる、丁寧にアスベスト取り外していく作業が、もう少し簡便な形でやれるようになったから安くなったとか、日数が短くなったから安くなったとか、安くなった中身を教へていただきたいなと思ひます。

○若柳建築事務所（若柳）今のお話の中の1つ目が、2月に残置物の撤去をしていたご様子をご覧いただいたんだと思ひます。

解体工事と残置物の処分というのは、処分する組織、あとは企業が違います。なので、その部分で解体工事に入る前に、置いてあるもの、例えば置き家具とか、それから残置されていた自動車とか、壊れたガラスの破片とかいろいろあつたんですけども、そういう残置物。建築物でないものは先に排出をするということで作業していた内容をご覧いただいていたので、外のものもありましたが、中には棚とか椅子とかそういうものを持ち出して処理していた。工事ではなく処理です。

2つ目が工事車両の安全性のことですよ。

ちょっとこれ工事の担当の人から話してもらいますが、その工事中に事故があつては絶対にいけないので、車の速度とか切り返し3回はやむを得ないかと思ひますけれども、ふかさないうようにしてゆっくりやつてというようなことで、工事を進めていただきたいと思ひます。

あと、状況が雨の時、すごい雨とちょっとの雨といろいろあるんですよ。

梅雨の時期だとどうしても道路が緩むので、その時期には大型はやめていただいて小さい車両で入っていただくとか、道路に配慮しながら工事をしていただくようにしたいと思います。

**○参加者（B）** 付けたしするの忘れました。道路を手直ししながらっていうようなこととか、最後終わってから手直してっていう話ありましたが、私、そこで農作業をしている農家の人から話を聞くと、あの農道もそこを通る車によって今までも壊れたりしたことがあるんですよ。その人は個人的に全部ね、砂利かなんかを引いたりしたことがあったですよ。そうしましたら、農家の方が怒って、砂利なんか敷いてと怒鳴り込んでたんです。砂利がやっぱり田んぼの中に入るってことは、農機具を動かしたりするうえでとっても困ることなんですって。

そういうことも知らない奴が道路を直すなんてとんでもないっていうふうなことを聞いたことがありますので、先ほど砂利をのせるという話をしてみましたけども、そういう点をよくご存じかと思うんですけど、ちょっとそのへん気になりました。

**○参加者（A）** ちょっといいですか。

先ほど砂利の話になりましたけど、コンクリートの割った…なんていうんですかあれ碎石っていうんですか、山から持ってきた本当の碎石ってありますよね。

山から持ってきたやつは田んぼには入らないんですよ。

道路にちゃんと引いてくれば、コンクリートのやつを敷くとどうしてもタイヤの端に当たる部分もありますよね。碎石が。

そうするとそれが跳ねて田んぼに入っちゃうんです。

そういうこともあるんで、できればちゃんとした碎石で補修してもらえればっていうふうに思いますけどね。

あと町長、最後に終わったらあそこ舗装してくれると良いんですよ。

なんか予算も随分余ってるみたいだから。

もえぎ野の団地から降りてくるちょうど下り口までは舗装になってますから、あそこからずっと向こうの学校のところまでできれば。

**○利根町長（山崎）** この場ではちょっと、はい。ありがとうございます。

実は今、Bさんから、名前言っちゃうといけないんですかね。

工事が遅れた原因が解体と残置物。最初1つとして積算をやったんですよ。

やったんですけど、法律上やってるところも結構あるみたいですよ。

でも正確にはですね、分けてやらないといけないんだということがわかりましたんで、もう1回やり直したんですよ。積算を。

積算をやり直したので、それで2か月、3か月ぐらい遅れちゃったかな。

3か月ぐらい遅れちゃったんですよ。

今さっき話していた建物以外のやつを2つに分けて建物以外のやつを、先にこの間出しましたんで、それをBさんご覧になったというところでアスベストとかそういうものについては、厳重にしっかりとした区分けをして、運び出してるつもりでおります。

そういうことです。

**○参加者（B）** 7000万が2900万になったっていう理由について。

**○利根町長（山崎）** それは私もびっくりで、昨年に7000万だという話をしてたんでそのぐらいなんだろうなと思ったんですよ。

ところが、いろいろな話を聞いて、こんなの5000万だよ、そんなの4000万ですっていう業者もいたらしんです。それを今回やりましたら3000万ということでやってくれたんですが、例えば簡単に言いますと、最終処分場を持っているとか持っていないとか、下請けに出すとか、そういったことで非常に差が出てしまうということで、金額はですね、すごい差がある原因というか、それを課長の方から説明させます。

**○農政課（大越）** 入札を行った結果なんですけれども、これはホームページでも公開しておりますが、一番高いところで7850万（税抜）で、今回フルヤ建商さんで、税抜きで2680万ということになっております。

入札の結果だと思います。

あと、先ほどの残置物搬出の回覧につきましては、私どもの方で残置物ってたくさん写真を撮って把握しているんですけれども、回覧に載せたのは一部しか載せなかったもので、その室内

の木板については申し訳ありません。載せ忘れと言うか、スペースの関係で「など」ということで載せてしまいました。

**○利根町長（山崎）** 3000万だと言ってるんですが、今のお話でいくと一番高かったのは7850万、これは税抜きです。それで、今回フルヤ建商さんが落札したのは税抜きで2680万。これだけの差が出たということでございます。それはいろいろその施設を持ってるとか処分場を持ってるとか、あと人件費、いろいろなことがあって、この値段に総合的になったんであると思うんですが、その辺は我々の積算では大体7000万ぐらいかかるのかなという、普通の考えでいくとそのぐらいの金額ということで、昨年3月の議会には7000万で上程したと。私その時は町長じゃなかったんですけど、そういう考えで出してきたんだろうと、今、思っております。

**○参加者（C）** もえぎ野台のCと申します。

先ほど資料2ページと3ページのところで、今回の概要とそれから工程のご説明いただいたんですけど、今年9月の解体後の最終的な状態ですかね。

それをちょっと詳しくご説明いただきたいと思っております。

例えば今、ご存じだと思いますけど、あそこの建物以外のところ、コンクリートだったり周りにフェンスがあったり、やっぱりああいう状態になっていますよね。

これが9月の時点でどういう状態になっているか、追加で説明をお願いします。

**○若柳建築事務所（若柳）** 予定ではコンクリートは外します。

なのでコンクリートの下にある砂利が残る形になってくると思います。

それと周りのフェンスは撤去いたします。

ただ、フェンスの外側にU字溝とか土留めがありまして、その土留めを取ってしまうと田んぼにご迷惑をかけてしまうので、その土留めだけは残させていただきます。

という計画になっています。

**○農政課（荒井）** ちょっと補足なんですけど、今ちょっと若柳さんの方で砂利が残るっておっしゃったんですが、一応取る予定でおりますので、全部土で、要は完成予定は田んぼと敷地が高さ結構違うので、今柵板で土留めされているんですけども、それはそのまま残ります。

その上に今後排水するためのU字溝、側溝が入ってますんで、それは敷地の水が田んぼの方に落ちないようにその側溝は残します。

ただフェンスは取りますんで、見た目は畑のような見た目になるのかなと思っております。

**○参加者（C）** わかりました。土の状態になるということですね。前回の説明会のときにご質問させていただいたんですけど、今回アスベストの処理をする際に、解体した後にその土地にアスベストが残る可能性があるのであれば、もう一度検査して、それをまた除去するとか必要じゃありませんかって話を前回質問させてもらったんですけども、今回その作業って入っているんですか。

**○若柳建築事務所（若柳）** 先ほど工事の方からご説明があったんですけども、固形物。スレートって言って、かたまっている建材が含有になっています。

その固形物を割らないように、そっくりそのまま袋に詰めて、場外へ搬出する計画です。

なので、破碎、割らなければ絶対にこぼれないので、そこに飛び散ったかどうかというところを検査する必要はないと考えています。

**○参加者（C）** わかりました。ちょっとそれがいいのかどうか私には判断できないので、残らないようにしていただければ。

**○若柳建築事務所（三輪）** 現場には残さない。

**○参加者（C）** 残さない。はいわかりました。

**○参加者（D）** もえぎ野台のDと申します。

今のCさんの質問と関連して、私も同じことを思っていたんですけどね。

アスベストの建材を搬出または取り外す際に、4月からずっと工事があるんですがその間に、よく全国でもそのアスベスト除却の工事中にアスベストが近隣住民に被害を与えたという記事をよく見受けますよね。

我々が危惧するのは、同じ被害をこうむる可能性はあります。ですので工事中にアスベストの大気含有率であったり、近隣の庭先であったり、道路の堆積の中にアスベストの粉とか落ちてないかどうかという、そのような検査を定期的にしていただきたいと思いますんですけども、あ

と、湿式ですか水をかけて除却するということでしょうけども、その水は一体どこに流れていくんですか。やはり周りの用水路に流れていくと、それが堆積していずれ乾いたらちよつと★  
★★★★★になりますので、先ほど所長がそんな粉なんてでないっておっしゃいますけども、もうかなり劣化してるんですよ。あのスレート板は。割れてる部分もあります。

当然粉が流れ落ちてると私たちは想像しています。ですからその辺の処理をしっかりとしていかなないと、後で検査しても周りにアスベストの粉がたくさん見つかるなんてことに、ならないようお願いしたいんですけども、対策はどのようにお考えでしょうか。

○若柳建築事務所（若柳）条件として確かに何十年かの経緯があるので、欠損が見られるというような事実だと思います。

ただそれを先ほども言ったように、飛ばないように割らないようにということで、すぐ袋に入れて、その袋も密封して場外へ出しますので、その細心の注意については、本当に施工する方がきちんとやっているかどうか確認させていただきますし、もちろんそれをやる前提でフルヤ建商さんも受けてくださっていると思うので、その覚悟はしています。

飛散させないような対策というのは、水で飛ばないようにすることと、すぐ袋に詰めること。

○参加者（D）そういうことを我々はやって当然だと思ってますけども、汚染調査して欲しいということです。

○若柳建築事務所（若柳）汚染調査。検討します。今そのことを予算も含め…。

○参加者（D）検討しますという言い方はね、我々住民に対して非常に失礼な言い方でして、私たちはその近隣に住んでるんですよ。しかも全国的にそういう事例が出てるんですよ。だからやって当然じゃないですか。

○利根町長（山崎）すみません。まず、一応検査は何度か事前にやっていて、レベルⅢということで、一応人体とかそういったところには影響がないという答えはいただいております。それから始まって、この工事設計も進んできたんです。

それで、今おっしゃってた汚水ですね。

それはやる方向で進めます。

○参加者（E）もえぎ野台のEと申します。地元の自治会の役員をやってます。

この問題が右側に座ってる皆さんはあんまり経緯ご存じないかもしれませんが、足かけ2年、3年にわたりこの問題対応してきたので、なかなか雰囲気は掴めてないんだろうなっていう印象を持ちました。

まずですね、これだけはっきり言って解体工事そのものは大したものじゃないですよ。大きなビルを解体するわけでもないところで、これだけ住民の皆様からいろんな不満な点がいっぱい上がってくるっていうことは、それだけ住民の皆様は不安に思って、ましてやこの問題が発覚してから相当の説明会がね、これで何回目だろう6回目、7回目ぐらい。

そういう経緯があって、今この場にいるっていうことで、その辺は真剣にね、認識はしていただきたいなっていう、想いがあります。

まずですね何点かあるんですけども、工事計画の説明というふうに、いわば仕事向けに説明するのであれば、この程度なのかなっていうのは想像していたんですけども、やっぱり住民の皆さんね、レベルⅢはどんなものかとか、アスベストはどういう健康被害があるのかっていうのは、もう十分承知の上でこの説明会聞いてると思うので、もうちょっと詳しい説明があったら良かったなと思います。

例えばさっき石綿スレートの解体は丁寧にやるっていう説明したけど、これ手ばらしでやるんですよ。

手ばらし、手積みでフレコンに詰めて、飛散ないようにやるっていう工事の仕方をやるんですね。そういうことをちゃんと説明しないと、丁寧にやるって言たって、レベル感が違うわけだから、そういったこともやっぱり説明していただきたいと思います。

もう1つはですね、工程表もついてますけど、このレベルⅢ対応の工事っていうのは、この土木の解体の行程しかないけどこれ、どういうタイミングでいつごろその該当の作業、レベルⅢの対応をするのかっていう話し。

住民の皆さんもね、想像ができてると思うんだけど、レベルⅢの工事は手ばらしで丁寧に、さっきの言葉から言えば丁寧にやるってことなんだけど、それが終われば今度、重機解体になるわけですよ。

鉄骨なんかカニ鉋か何かで刺して通して、ガラはジャイアントグレーターもしくは、割って、圧縮で割って排出するんですよ。

そういったこともやっぱりもうちょっと丁寧にね、全体の工程の中で説明していただきたいなって思いました。

あと細かい話しありますけども、さっき住民の人がね、Bさん、また名前出しちゃったけどBさんがね、やっぱり、普段見てて心配事があるっていう、自治会を経由して回した回覧もね、残置物の搬出がもうちょっと丁寧にしてほしかったっていう。

これもやっぱり本質は、いや外に置いてあるものを片づけるって書いてあったのに、中に入ってんじゃんっていう純粋な不信感のあらわれなんですよ。

そこは町の方がきちっとね、もう今まで何回も説明会をやって、毎回紛糾してましたよね。

そういうことをやっぱり真剣に町側の行政のね、やり方として考えるべきなんじゃないですかっていう、まあこれはもう過ぎちゃった話ですけども、今後ね、そういう説明ってのはすごく大切にきちっとやってほしいなって思います。

僕はね、なんとなく中の棚外すんだらうなって想像してたんだけど、やっぱりより近くに住んでて不安に思ってる人は、中に入って何やってるんだよって思うのは確かにね、そういうことはしっかりやっていただきたいと思います。これは今後の話です。

これは、今後工事始まってから、どこかのタイミングで回覧することもあるでしょうし、何らかねそういうこともあると思いますのでそちらはやって欲しいなと思います。

管理者の方は、ほぼ常駐みたいな感じになるんでしょうか。

どういう形になるんでしょうか。

それもね、住民の不安の中に残された問題になると思いますんで、よろしくをお願いします。

あと農家の方がね、いや、RCだとあんまり田んぼに良くないんだという話しありましたよね。クラッシャーC40かC60か知らないけど、そのくらいの材料を確かに使うっていう宣言は、ここにいる農家の皆様にはしていただきたいと思います。

RCっていうのは再生砕石。コンクリートを割ったそういうやつを使わないでねっていうことを農家の方はね、おっしゃってるんで、それはやっぱり宣言していただきたいなと思います。

それとちょっとね、今日僕とDさん、どっちかっていうと工事の内容自体は、フルヤ建商さん、僕も知ってますんで、心配はしてないんですよ。実は心配はしてないんです。

ただですね、今までの町のいろんな経緯、冒頭、多分僕らが発言するだろうと思って町長、最初に謝罪の言葉から始めていただきましたけど、やっぱり最初、補助金の返還義務の話がありましたよね。それからアスベストのここにいる皆様は関係ないんですけど、別業者が、きのこ工場を再開するってなって、散らかってた壁材だかなんだか片付けたときの問題を踏まえて、アスベストの処理に当時問題があったという発言で、謝罪されましたけど、さっきBさんからね、いやもともと7000万の工事費が半分以下、半分になって税金を安く使わなくなったのはありがたいことだけどっていうふうにおっしゃってましたけど、僕の見方はちょっと違って、いや元からこういう金額が本当なんですよ。

というのは、僕ね去年の10月、この問題の特別委員会で参考見積もりとして、2600万という金額で試算を出して、そんなかかるわけないでしょって発言をしました。

ですので僕の中では、相当な適切な金額だったというふうに思ってます。

安くなったんじゃないかって、もともと高く見込んでいて、それはなぜかという、補助金を返さなきゃいけない義務があるだの、解体するとこんなに金がかかるだのっていうことで、行政側は、何とかきのこ工場を今のまま残すということを目指しているんだなっていうふうに僕はざっと思っていました。

その件に関してやっぱり本当に近隣近所に住んでる人は、今までの行政のやり方っていうのがどうしても今許すことができない。

山崎町長は謝ってくれたけど、当時ね、ご自分でも発言されてましたけど、特別委員会の委員長で、どっちかっていうと住民の側に寄り添って追及する側の立場だったわけですよ。今の町長は。

ですので、僕らはね。そういうことじゃなくて、ちゃんと当時の行政の責任者。まあ佐々木町長が出てきて謝れっていうわけにはいかないんでしょうから。

ましてや、補助金返還義務の、いわゆる僕らの主張はね、嘘の発言をしたというふうに思って

ますけど、結果的には嘘だったわけですから、そういったことの謝罪、アスベストの問題、それから今回はね、大幅に金額がずれ込んでた問題、それはこれからやるでしょうけど、その当時の問題ってやっぱり、去年の3月にここで最後のね、説明会したときに、どなたか説明したと思うんだけど、二度とこういうことがないように行政としてはどうするんだっていうことを明らかにして欲しいっていうお願いをされてましたけど、謝られただけじゃなくてそういうことも実は聞きたかったなと思ってます。

ということなので、そういうことも踏まえて、今日そういう機会がなかったのも、別の機会があるのかどうなのかですね、ましてや補助金返還義務の問題で、結果的に住民世論を扇動したことは認めますというふうに前町長は議会でおっしゃってましたけど、そういうことであれば、いつか住民に謝罪してくれるんだなって思っていました。

今日の山崎町長の謝罪をね、当時、そういう立場であった人の発言ですから、どうしてもね、謝罪を受けた気持ちにはなりませんので、ましてや考査委員会をやるという予定にもなってるみたいですけども、その結果は公表しないということなんで…。

**○利根町長（山崎）** いや、しますよ。

**○参加者（E）** するんですか。

ということなので、そういうことがやっぱり住民の今までのこの2年間はね、不信感を払拭するためにはどうしたらいいかっていうことをやっぱり行政側として考えて、やっていただきたいと思います。

そういった行政と住民側でね、相当揉めた内容っていうのは、今日この場で監理の方、工事の方、感じ取っていただきたいと思いますんで、決めたことを確実にやるっていうことをしていただければと思います。以上です。

**○利根町長（山崎）** はい。ありがとうございます。

行政に対するご意見をいただいて、これが始まったと言うものでございます。

ご存じない方もいらっしゃるかと思いますが、もえぎ野台の自治会の方でアスベストの話があって、行政の説明がなっとらんということで、我々はそのとき議会でしたが、それをもって行政に議会として意見を求めるということで特別委員会を作りました。

私はその時の委員長でした。

いろいろやりとりしながら、目的はあそこをまずまっさらにしようと。綺麗にしようと。

アスベストのない土地にしようということで、それを可決してですね、行政の方に投げたらば、結果、このように結びついたのかなと思ってます。

いろいろ不満な面、まだまだそんなんじゃないよと、どうするんだと、という話をしていますが、今ですね考査委員会もやって、それも結論が出ましたらホームページ等、あと謝罪は私は今日お詫びするという覚悟で、覚悟っていうかそのつもりで来ましたので、それをもって謝罪ということ。謝罪にはなっていないということがあれば、謝罪をこれからもやっていくつもりですが、今までですね、一生懸命行政も苦しみました。間違えたということなんですけど、歴代、20年、20年以上間違えてたんですよ。20年以上間違えてたものを気がつかなかったということで、県の方にも国の方にももう聞いたりはしてたみたいです。

しかしながら、その答えがどっかで変わってしまったと。

それで県の方も説明にきました。来たそうです。私はそのときは町長じゃなかったですけど。来て話を聞いて、我々が利根町で把握してた、この、きのこ工場は、工場の管理等々については間違えたんですねということで、それが判明したので、行政は1度前回の時に、間違えてたということを言ったと思います。

それは私も議員として一番後ろの方で聞いておりました。

そして今回、考査委員会の方も立ち上げるということで今進んでおります。

その結果は町民の皆さんには報告するという指示を私は出しておりますので、それは実現には結びつくと思います。

もう1回戻りますけど、私の謝罪で納得されていない、もっともっと甘い、もっとしっかり皆さんに報告せよということであれば何回でもやるつもりでおります。

間違えたことはお詫びするつもりで町長になったということがございますので、その辺はご理解いただきたいと思います。以上です。

**○参加者（E）** ちょっと待って。

その前にいろいろ言ってるの、最後の話しかお答えいただいてないんで。

○若柳建築事務所（三輪）はい。まずご質問いただきました監理は常駐でやるのかっていう答えなんですけども、常駐監理ではございません。

我々の監理業務として考えているのは、工程毎の監理ということで、例えば工事であればいつから工事を着工します。

何月何日に仮設ができますって言えば、その時点での現場の確認をする。

それで安全面、その設置状況を確認していくという形になります。

アスベストにつきましても、アスベストの撤去を1から始まるっていう工程の中での連絡がきますので、その着手前に確認させていただいて、着手をどのようにやったか打ち合わせをさせていただきます。

それでアスベストの撤去中にも現場を見まして、間違いなく袋づめ、外に搬出することなく、現場内での袋づめを実施しているかどうか等を確認させていただきまして、それで撤去袋づめを行った量を確認いたしまして、それで最終的にアスベストの処理の方に排出していくという流れを工程ごとに確認していくというような監理業務になると考えております。

○フルヤ建商（本名）はい。アスベストの方の作業手順としましては、まず囲いを囲って水を噴霧しながら、手作業で除去して、ブルーシートと袋等に入れて搬出するという形をとります。それで水がこぼれるとか下のやつはブルーシートでも敷いて土に流れないようにいたします。

○参加者（E）この時期はいつ頃ということになるんですか。

4月の後半から6月の後半までは栽培棟の解体ってなっていますけど。そのうちのどれがレベルⅢの作業になるのかと。

○フルヤ建商（本名）この工程表と合わなくなってしまうので、あと足場の状況もありますので、1週間とか10日前に思っていることは、皆さんにお知らせ回覧をしたいなと思います。

ただ時期的には明確に…。

○参加者（E）じゃ細かくこれから工程表をちゃんとしたもの作りなおして、時期が確定されたら住民にお知らせいただくと。そう言うことですね。

それは町経由でされるんですか、それとも業者さんが…。

町経由で、何かさっきBさん、もう一回Bさんの話に戻っちゃうけど、残置物の回覧が回ったってのがあったんだけど、タイミングめちゃくちゃ遅くて、僕らが回付依頼きたのは、直前だったですよ。そういうのもあるんで、そういうのをしっかり前工程を読み取ってやっていただけるといいかなと思います。

それと先ほど話1つ前の話でね、いわゆるちょっと専門用語で申し訳ないけど、サラ監は常駐じゃないけどタケ管は常駐っていう意味でいいですか。

さっきサラ監理は常駐はしないと聞いたけど、業者さんから出す監理技術者は、ちゃんと常駐していただくっていいんですか。

これ法的に必要なんじゃないですか。タケ管は。監理技術者は。

○フルヤ建商（古矢）弊社の本名の方が監理になりまして、常駐で工事の方させていただき予定しております。

○農政課（荒井）回覧の件につきましては、ちょっと区長さんとも相談しないとちょっといけませんので、ちょっと今ここで明言はできませんが、回覧するとすれば町から回覧は依頼する形になります。以上です。

○フルヤ建商（古矢）すみません。借り囲いのゲートの脇あたりに工事看板を設置する予定なんですけれども、そちらに工事の1週間の予定の方も書かせていただこうと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○参加者（E）この場でね、具体的な段取りは言えないかも知れないけど、せめて再生砕石が嫌だっという人がいるんで、そうじゃない対応は考えていただくというか、約束をして欲しいっていうお話したと思うんだけど。

○若柳建築事務所（三輪）再生砕石っていうRCのものを使うか使わないかっていう話なんですけども、私ども監理上の立場ではきっちりRC40の物を材料として提出していただきましてそれを確認して、現場の方でものを実際確認して実施していきます。

○参加者（E）農家の地主さんには安心してこれっていいこといいんですか。

○参加者（F）立木の私Fと申します。

最初の説明会のときにですね、搬出に10tトラックという話がでたでしょう。

あのときに、入れないから小さい車で運び出しますって話だったんですけど、これだと10tトラックですよ。

○農政課（荒井）資料の方には10tダンプが映っているかと思うんですが、今ちょっと協議したなかで、4tオンリーでいくということで約束していただいたので…。

○参加者（F）そうですか。あとですね、あそこの道を、今、皆さん砂利を引くとかって言ってきましたけど、おそらく4tで何回運ぶかわりませんが、あの下に水道管が通ってるんですよ。

左に本管があって、右の方の田んぼに支線で全部入るようになってるんです。

それからフェンスの手前あたりで、本管が田んぼの右の方へ入って、それがまた行ってまた左へ入ってるような配管になってるんですよ。

これももう50年近くなるんで、この4tダンプでも、何回も歩かれたらもう耐えられないかと思うんですよ。

そこら辺ちょっと気をつけてやってもらいたいんですよ。

4tトラックなんで、おそらく幅が普通のより若干でかいんじゃないかなと思うんですけど、歩いてみると、それから側面ですか、法面っていうんですか、そこが崩れる恐れがあるんで、やっぱりそこをちょっと、私は鉄板か何か引くのかなと思ってたんですけど、鉄板引かないということなんで、何かほかの方法はないですかね。

ゴムシートとか引くとか、そういう方法をとってもらえば助かるんです。

私はあそこで田んぼ作ってるもんですから。

○利根町長（山崎）鉄板を引くと逆に危険だということで、鉄板やめたんですよ。

○参加者（F）確かにわかりますよ。

だけど、あの下は全部通ってるんで、50年も経ってるんでノリが剥がれやすくなってるんで、それがちょっと心配なんですよ。

だいたい4tで、何回ぐらい運ぶ予定ですか。

○利根町長（山崎）ご心配、その通りだと思います。

そこは雨の量とか、そういったものも含めて、そういう事故とかならないようにしっかり町と業者さんと検討して進めていきますので、ご了承ください。

今日この場では、はい。

○参加者（F）わかりました。

あとは、ちょっとこれこの場で言うのも、なんかちょっとおかしいですけど、おそらく農政課の皆さんも、もうあと1年ぐらいで皆さんまたころっと変わっちゃうので、そこはねちょっと疑問なんですよ。

いつも何も知らないうちにころっと変わってるんで、ちょっと話は違って、こっちの話とは別なんですよ。

だいぶ太陽光でやられてると思うんで。

ただ知らないでハンコをポコポコ押しちゃって、後は変わっちゃって知りませんですから、そのへんはお願いいたします。

綺麗になることは、私も賛成なんです。

あそこが危ないってわけでもないんですけど、先ほど言われたアスベストは何かあんまり影響ないってことなんで、前の報告書を見ると、そこら辺は安心してるとは思いますが、ただ心配なのが何回も通るんで、水道管だけちょっと気をつけて。

○利根町長（山崎）ありがとうございます。

○参加者（G）横須賀のGと申します。

中学校への配慮は、どうなってますでしょうか。工事が始まるにあたり、中学校への配慮。

○農政課（荒井）教育委員会の方にお話をし、教育委員会の方から中学校の方に注意を促していただくような形をとっております。

○参加者（G）どのような注意なんですかね。

○農政課（荒井）交通誘導員がつきますので、そのつきますよという話と、生徒がいるときには配慮して工事車両が停まるなりするような配慮はします。ただ、皆様も一応ご注意くださいというような、そういうような注意の形をとらせていただいています。

**○フルヤ建商（古矢）**今の中学校の方への配慮という点なんでけども、一応ガードマン配置っていうのは、農道へ入る道のところで、出入りするところに必要な時にガードマンを配置する予定でございまして、あとは通学の朝と夕方の時間帯があると思うので、その時間は車は通さないように計画をしております。

**○参加者（D）**Dと申します。Eさんからありましたので、具体的なことを私は申し上げませんが、我々が請願書として提出して、ほぼそのとおり実現してきている。ですから住民側がもともと正しいことをして何でこの2年間も、行政は★★★★けてきたのかなっていう腹立たしさが、非常に、私は日常を変えています。

なぜかって言いますとね、生活中にどれだけ時間を費やしてきたか、または皆さんまだ現役で働いていますので、実生活も家族にも大変なダメージを受けさせてきてるわけですよ。

それで、議員さんたちにも私は文句もありまして、ほとんどこれ可決した後、J議員以外質問もしないですよ。

私はこの原因。虚偽説明等の、アスベストの問題も含めて、法違反を行政自体が行ってきているのかということに対して追及して欲しいと、第三者委員会を求めても議員たちはみんな反対しましたね。内部でやればいいじゃんって。

そんな議員で私はいい町をつくれるはずがないと思ってます。

もっと勉強して欲しいですね。

情熱を持って良い町にしていくためにね、そのための機会として、今回、このきのこ工場の除却問題あると思っております。

先ほど町長言いましたけど、20年、間違って20年間何やってきたんだろうって、そもそもそんな行政で良い利根町なんか再生できるはずがないと思ってます。

それですね。これ一連の違法行為について町長先ほど謝罪ありましたが、なんでこんなに審査委員会が遅いんですか。結果が出るのが。何が問題でこんなに遅くなってるんですか。

私は、真剣に内部で調査を進めてないんじゃないかなと。

むしろ風化するのを待っていたり、私たちはそれだけまたストレスをずっと貯めてる最中なんですけど。

その人間の尊厳っていうものはどんなようにお考えなんですか。住民の。

町は生活を豊かに、平和に暮らす、そのために行政がありますよね。

行政者が、そのような国民にストレスを与えるような、議員も行政も町長は変わったので今一生懸命やってるっていう噂は聞いておりますけれども、私は前に★★と思います。

だって答え出てるでしょ。

農政課がこの虚偽であると認めて半年以上、公開しなかったんです。隠してたんですよ意図的に。前町長も1億という脅しのお金を出してきてる。住民側にそのようなことをする行政だといけないということを私たちは、じっくりと時間をかけて辛抱強く未だにやってるわけですよ。

ですからもうそろそろですね、反省すべきところ行政は反省して、いい町を作っていきますよ。

私はそのためには頑張ってきてるんです。利根町住民が中心になって。

何十年も放置した汚いきのこ工場とようやく私たちの望み通りかなえられましたよ。

これいい方向に進んでるんですから、もっと目を覚ましてください。議員さんたち。

今までホームページでキクラゲ栽培の進展に期待してますなんていう偽情報を載せる議員もいます。とんでもない話ですよ。

なんなんですか議員さん。なんのために働いてるんですか。

そんな嘘の情報をホームページに載せるべきじゃないでしょ。

もう結果ははっきりしてるんですから。

そのようなことで町長に私本当に期待しますが、早く審査委員会の結果を出して処分する課長なりいたら公表してください。よろしくお願いします。

**○利根町長（山崎）**はい。ありがとうございます。

今、進めておりますので、遅いということを肝に銘じまして進めてまいります。

**○参加者（B）**ごめんなさい。決まりきったことを質問するかもしれませんが、建物の解体

だけじゃなくて、更地に戻すというので、あそこは一面がコンクリートで覆われているってことがとても気になって、そのコンクリートが20年以上、どんどん汚くなっていったってことが、気になっているものですから。

そのコンクリートのいわゆる敷地というか、駐車場というか敷地のコンクリートの解体はこの工程表で言うところの下から2番目の外構解体っていうところに当たるのでしょうか。

そして、その解体と言うのは、非常にコンクリートなので瓦礫がね、相当な量になるっていうふうに思うんですね。

それで先ほどのアスベストの、そのものは手でとって水をかけて丁寧に袋の中に入れて、始末するっていうお話聞いたんですけど、敷地のコンクリートっていうのは、アスベストの検査っていうのは、してなかったですよ。その大気を検査っていうことだけでね。そういうことで、飛沫だとかいろいろね、アスベストの瓦礫を取り外したりする中でまた下の敷地にね、そのような飛沫が、あれだけのたくさんの敷地でするので、飛沫も飛ぶのかなということもちょっとは気にはなってる。

ですが、まずそれが、アスベストの前のあれと同じように1つずつね、ビニールの袋に入れろとは申し上げませんが、そういう敷地の瓦礫の処理っていうのはどんなふうにもね、行われるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

**○フルヤ建商（古矢）** アスベストの材料があったやつに雨とか降って、そこにコンクリートの上に溜まっているのではないかっていうことですかね。

**○参加者（B）** そういうこともあるんじゃないかって、ずっと20年以上も経ってるんでね。

**○若柳建築事務所（若柳）** レベルⅢとってるアスベスト含有建材は、固形物です。

どうぞ説明したらいいかちょっとあれなんですけど、そこから何かの衝撃やそういうことで、下に落下したアスベストがあるのではないかというご心配ですよ。

**○参加者（B）** それの処理はそのアスベストⅢとははっきりわかるものの処理は手で外して、水をかけながら外して袋に入れて処理するっていうふうにおっしゃりましたよね。だからそれは、そういうふうにしてやるんだなっていうふうに理解はしたんですけども、いわゆる敷地全体がコンクリートで固まっています。

そしてそこを更地に最終的にするっていうふうに町の方で答えたので、かなりのあそこコンクリート崩すので大変なお仕事で瓦礫の量もすごく多くなるって思われるんです。その始末はどんなふうにも。ひょっとしたらそういう雨で、外壁とか屋根のアスベストというものが、駐車場のところの敷地には流れてあるんじゃないかと思われるものだというふうに私は思ってるんですけど。その処理はどんなふうにもされるのかな。

**○フルヤ建商（古矢）** アスベストの材料っていうのは、今もいっぱい残ってるようなもので、結構あっちこっちにあるんです。それで、雨とかで流れてそれが固まっているかどうかって言うのは、なかなか調査をするっていうことが通常ないものではあるんですけども、やっぱり長い年月そのままの状態でも壊れてる部分も実際にあるのはあると思うので、今のコンクリートだとか舗装の上の土とか砂とか、ちょっと採取させてもらって、1回分析をかけてみます。

その結果次第で対応の方、検討していければと思います。

コンクリート自体にはアスベストは含まれてはいないので、重機で撤去する予定です。

**○参加者（B）** はい。ありがとうございます。

**○参加者（F）** 今アスベストの件出たんですけど、解体するときに水をかけるって言いましたね。その水をどこへ流すのか。外の用水へ流すんですか。

もしあれでしたら、施行する前と、それから終わった時点の検査をこれちょっと町の方に言うべきなのか、ちょっとわかりませんが。

**○フルヤ建商（古矢）** 水をかけながらの作業なんですけど、ホースで霧状の水をかけるような形なので、水がドバドバ流れるような状態にはならなくて、材料自体が水を含むので…。

**○農政課（荒井）** 今ちょっと聞いたところ、排水するほど水は流さないということなのでご了承ください。

**○参加者（F）** それは、完璧約束できますか。

あれはね排水は下の方へ行くと用水なんですよ。

あそこだけ排水なんですけど下の方へ行くと用水になってるんで、なんかね、始める前にこうだから、終わりましたらこうでしたと出してもらえれば、皆さん安心するんじゃないかなと思う

んですよ。

確かに噴霧状で出すのは一般的ですよ。

アスベストにしる普通のコンクリ解体でも噴霧状にして出してるのが、噴霧状もあるし、水をそのままかけてるのを見えていますから。

ただ誰も★★もらえないから、その辺をちょっと心配をしています。

私、アスベストが流れてどうのこうのがあるときには天国かも知れませんが。

○農政課（荒井）令和6年度ですね、昨年度に気中の検査はやっておるんです。その時には検出されていないと。

あとあそこの水は、排水はされないで敷地内で溜まってしまっているような状態なので、今現時点ではあそこに流れていないかなと思うんですが。

○参加者（D）流れてますよ。大雨のときは落ちてます。

○農政課（荒井）大雨のときは落ちてますか。

○参加者（F）あそこは流れないと言い切れなそうですよ。

○農政課（荒井）去年アスベストの検査では…。

○参加者（F）それはわかるんですよ。

それはただ1ヶ所、要するに上のあれを壊さないときの、アスベストの値ですから、私はそれ心配してないんですよ。確か人体で問題ないって範囲で結論が出てくると思うんですけど。

ただ今度噴霧状にして、それがゼロとは言わないと思うんですよ。

それどっかから流れてるんで、それを町の方でやって、こっち（業者）の方には関係ないと思うんですけど。

町の方で何か予算とって、やってもらいたいんですよ。

○参加者（E）さっきフルヤの常務さんが検体調査しますって言ったんだからそれやるしかないと思うんですけど。

○農政課（荒井）はい。そうしたらですね、水質検査の方も合わせて実施したいと思しますので、ご了承ください。

○参加者（F）わかりました。

○参加者（H）きのこ工場のすぐそばに住んでおりますDと申します。

先ほどEさんから、フルヤさんのことご存じで常務さんのことも会社のご存じで、とても安心してるとおっしゃってたんで、私たちも安心はしてるんですけども、現場にいますと、現場ですぐ何かあったことなんかもあるんですね。現場の働いている方に、聞きたいと思ったことでも、ちょっと怖くて聞けないような方も結構多いんです現場の職人さんて。見た感じなんですけどね。農政課さんが窓口だと思うので、連絡できればいいんですけど土曜日ってこともあると思いますし、この次回覧を、詳しいことを回覧してくださっているものの中に、連絡先みたいなものを、フルヤさんの。

個人情報とかいろいろあるので難しいかもしれないですけど、できれば緊急連絡先みたいなものをメモして置いてくださると、ちょっと安心なんですけど。これお願いなんですけど。

○フルヤ建商（古矢）わかりました。

○参加者（E）さっきお知らせ看板、掲示するっていう話でしたよね。

監理技術者の名前出て、連絡先も載せるはずなんで。

○農政課（荒井）Eさんがおっしゃった通りです。

○参加者（J）利根町で議会議員に勤めておりますJと申します。

フルヤ建商さんにちょっと伺いたいことがございます。

先ほどアスベストの処理がスケジュール上、直近にならないとわからないってことだったんですけど、大体アスベスト処理の作業をする1週間前に決まった後、町と近隣の方達へのお知らせというのは大体タイムラグどのぐらいになりますか。

○農政課（荒井）すみません。そしたらですねフルヤさんから私どもの方にご連絡をいただきまして、すぐにホームページにアップします。

プッシュ通知で皆さんのスマホ、携帯の方に、お知らせが届くようにさせていただきますので、ちょっと回覧だと回るまで1週間で回らないと思いますので、そうすると始まっちゃうと思います。なのでホームページの方でプッシュ通知をともにしてお知らせしたいと思います。

○参加者（F）ホームページで見る人ばかりじゃないんで。

○農政課（荒井）それでプッシュ通知をします。

○参加者（F）ホームページに見る人ばかりじゃないんで、やっぱり回覧が欲しいですよ。今回の集まりでもホームページで見たから私分かってたんですけど、だけど、ほとんどの人、立木の方は誰もいないんですよ。

○参加者（I）一応来てます。

○参加者（F）あの人は議員さんだからしょうがないんだ。ですから区の方に回してもらえれば。回覧でも回ると思うんで。まあ、タイムラグはしょうがないと思いますよ。

○農政課（荒井）そうすると事後の形で回るような形にはなるとは思います。

○参加者（F）全部じゃなくてもいいと思うんですけど。本来は全部回すのがあれなんですけど、あその関係者だけでも回せば、もっと信頼性が上がるんじゃないかなと思います。

○農政課（荒井）連絡いただいてから1週間くらいで始まると思うんで。

○利根町長（山崎）いやそれもずらそうよ。期間が遅くなっても、回覧で先に見てからの方がいいよ。

○農政課（荒井）そうしたらホームページと回覧の方、回させていただきます。

○参加者（I）学校と中学生の保護者も大事ですよ。

○参加者（B）メールがすぐ来るのでわかりやすいですね。

○農政課（荒井）はい。プッシュ通知についても、もちろんやりますので。

○参加者（G）Gです。ちょっとここは業者さんちょっと外してもらって、行政全般に言いたいんですけど、なぜこうなったかっていうことをお考えになったことありますか。

○農政課（荒井）すみません。具体的に…。

○参加者（G）なぜこういう状況にまで陥ったことを、行政側はどう思いますか。

○利根町長（山崎）はい。ごもっともな話でございまして、まずこの発端になったときに、行政の方は全く把握してなかったというのが事実だと思います。我々も議員、私も議員だったんですが、議員のときも行政の説明を聞いて、あそこは、なんて言うんですか、手を出せない区域というふうに認識してたんです。それがまず間違いだったんですけど、それに何も疑問も持たないで町の行政の方の言うことを聞いてたというのが事実でございまして、それで騒ぎになったというか事実を知ることができて、だんだんわかってきたということで原因というのは、前のことを踏襲しちゃってたのかなっていうふうにまず私としては感じております。ただ1つ県も国もこれについての説明というのは何もなかったっていうのは事実なんですね。もえぎ野台の方から言われて、こちらから県と国に言ったら、実はそうだったんだと。それを何で教えてくれなかったのかっていう言い訳と言いますか、町の言い分としてはそれは事実でありました。それがですね。このようになるのを疑問も持たないで、ここは調整区域で何もできないで補助金をもらって、その補助金を返さない限りは、何も進まないんだと言う認識のまま続いてしまった。だから勉強不足って言ったら間違いなく勉強不足なんですけど、その解釈が変わったというところも知らない。それも勉強不足。県も国も何の通知もなくそのままずっと引きずって聞いたらやっとなんて教えてくれというところがあつたんで、そういったものが重なってこのようなことになってしまったのかなと、私は議員のときも含めて、町長になってからもそのように感じます。答えになってないかもしれませんが。まさに役所仕事だったのかなっていう、一言で言ったらこのような話になっちゃうのかも知れません。

○参加者（G）一般企業だと絶対に有り得ないことなんですね。町長さんが20年間わからないまま来てしまったと。ここ最近こういう状況から、ちょっとYouTubeで議会を拝聴させていただいてますけど、議員さんも含めて、町の課長さん行政側のね。建設的な意見がでなくて、レベルが低すぎます。何かすごい感情論だけで自分のことばかり言って、自分の意見がとおらないと腹立って文

句言うような感情的になって、建設的な意見が1つも出てこないから、この町から本当に人消えますよ。このままいくと。

実際にもう小学校で消える自治体利根町っていうんで、小学校でもうちの子供授業受けてる。

子供に言われました。利根町なくなっちゃうと。屈辱的じゃないですかこれ。

子を持つ親としては。昨年も言いましたけど、3年5年10年、町のビジョンを具体的に示していただきたいですね、これから。

**○利根町長（山崎）**ありがとうございます。

私になったから言うわけではないんですけど、その利根町を変えるために町長になったつもりでおりますので、今、どんどん機構改革をはじめ、県と国にも働きかけをしております。

予算が何もないんで、はっきり言って何もないんです利根町。

ふるさと納税の返礼品も目玉というものがいない状態で、何とか自主財源がないと、県の補助金などは期待しても来ないんですよ。

知事と友達だからってそんなことで補助金が出るほどあまい世界でもないし、そのため、いろんなところに教えてもらってましたら、去年の7月に町長になって、やっぱり国からもらう補助金が必要だと言うことにたどり着きまして、それと利根町には都市計画課というのがないんですよ。

昭和45年に利根町は首都圏の40kmだということで、調整区域云々になってその縛りが非常に厳しいんですね。

それを打破するには、都市計画を強化して国の方に働きかけをしないと駄目だということを、去年の7月に町長になってわかりましたので、それを作るために今、都市計画課をつくる。

都市計画課がない自治体というのはないんですよ。

茨城県44自治体があるんですけど、都市計画課がないのは利根町だけだったんです。

なので今、都市計画課を作ることを手がけてまして、これは今まだ決まったわけではないんですけど、補助金を、皆さんご存じのよく新聞とかテレビにも出てくるんですけど境町というところがありまして、境町は関東で一番ふるさと納税を集めて、約100億円集めてるんですね。

その首長、有名な橋本さんという方なんですけど、いろいろ声掛けをいただいて、山崎さん私何でも協力しますからという話をいただいて、今進めてましたら、まず都市計画をしっかりやって、自主財源を貯めてそれからやりたいものややっていかないと何にも続きませんよということで私も全くその通りだと思いますので、今、この議会ですら、その補助金を獲得できる方法を考えまして、まず初めに、今まで補助金をいろんなところで、副市長やったり副町長やったり、活躍してくれた人を、副町長としてあげるように、今回の議案として議会に提案しているところでございます。

あとは議員さんの方が賛成してくれれば、その予算の獲得の実績がある副町長を据えて町を元気にするということをするつもりでいます。

とにかくですね、今は、ご存知のように利根町を再生するにはどうしたらいいかということを考えますと、まずは自主財源をとって補助金をとって、そして我々が、町が元気になる施策を前面に出して、それを実現に結びつけると。

この繰り返しをやる以外に、利根町を元気にする方法はないと思ってますので、今それに結果が出てませんから格好いいことを言うわけじゃないんですけど、邁進しているつもりでございます。

町長になって7ヶ月経ったんですが、前に前に進めて利根町を少しでも元気になって、その小学生の心配してる不安ですね、そういったものを払拭していきたいなと思っております。

**○参加者（G）**すみません。その際に、やっぱり住民を置き去りにして欲しくないんですね。やっぱり行政が一人歩きしてるようなものをずっと今まで見てきたので、何かうちら馬鹿にされてんのかなっていうのが今回のことでものすごくよく分かったので、これから変えていただけると信じて応援していきたいと思っておりますので、うちの監視の目は全員厳しいと思っておりますので、襟正して、邁進して行って欲しいと思っております。

**○利根町長（山崎）**ありがとうございます。

**○農政課（荒井）**ほか大丈夫でしょうかね。

**○参加者（A）**それとですね、最後にコンクリートを取るって言いましたよね。

下には多分砂利があると思うんですよ。

そこまでこう取ると、結局両脇の土抱えとU字溝は残るって言いましたね。  
そうすると今度段差ができますよね、当然。  
そこには土かなんか入れてもらって、面一みたいな形でしてもらえますね。  
わかりました。

あと、今度は草が相当、生えてくると思うんですよね。  
今までフェンスがあった隣で私作ってますから、それでもう今までだいぶ役場の奴らと思って  
頭にきてもやってたんですけど、今度、草、今度フェンスも取っちゃうんで、これ草刈です  
か、この辺を伸ばさないように、管理の方お願いしたいと思います。

**○農政課（荒井）** はい。その件についてはですね、今度建物がなくなって更地になりますの  
で、今度バロネスで一気に刈れると思いますから、年3回もしくは4回ぐらい草刈り、除草入  
れたいと思います。よろしくをお願いします。

ほかにはないようですので、ここで解体工事の説明会を終わらせていただきます。  
長時間にわたりありがとうございました。

午前 11 時 42 分閉会